

増設施設1系プラズマ溶融分解炉排気中の水銀再測定について

- 発生日時：令和5年2月14日（測定時間 11時18分頃から12時53分頃までの間）
- 発生場所：増設施設1系炉排気測定口
- 事象概要：

上記日程にて、排気中の水銀測定を実施。2月22日に測定業者から結果の速報を受けたところ、1系炉の水銀濃度が $55 \mu\text{g} / \text{Nm}^3$ （排出管理目標値： $50 \mu\text{g} / \text{Nm}^3$ ）であったことが判明。同日、北海道及び室蘭市へ連絡。

水銀については、環境省通知※において、評価方法が示されていることから、当該通知に従い3月6日から8日までの間に3回の再測定を実施し、定期測定結果との平均値は $47.5 \mu\text{g} / \text{Nm}^3$ となり、基準の超過はないが、排出管理目標値に近い値だったため、応急措置として活性炭吸着塔を予備ラインに切り替えて3月16日と17日に再測定を実施した結果はそれぞれ $0.59 \mu\text{g} / \text{Nm}^3$ 、検出下限値未満であることを確認しました。炉補修工事期間中（令和5年4月を予定）に原因究明及び対策について検討する事となりました。

※（環境省通知 平成28年9月26日付け 環水大大発第1609264号 抜粋）

第4 測定法及び測定結果の確認について

3. 測定結果の確認方法について

定期測定において排出基準を上回る水銀濃度が検出された場合は、その測定結果が平常時における平均的な排出状況を捉えたものであるかを確認するため、「再測定」を実施したうえで評価する

具体的には、定期測定において排出基準を上回る水銀濃度が検出された場合には、水銀排出施設の稼働条件を一定に保った上で、速やかに計3回以上の再測定（試料の再採取を含む。）を実施し、初回の測定結果を含めた計4回以上の測定結果のうち、最大値及び最小値を除く全ての測定結果の平均値により評価する

PCB廃棄物の処理期限等	年度	R3	R4	R5	R6	R7
	変圧器・コンデンサー等	処分期間	計画的処理完了期限	事業終了準備期間		
安定器及び汚染物等	処分期間	計画的処理完了期限	事業終了準備期間			

処分期間	計画的処理完了期限	事業終了準備期間
計画的処理完了期限の1年前として定義され、この期間までにJESCOとの契約締結が必要です。	保管事業者がJESCOに対し、処理委託を行う期限です。	新たに生じる廃棄物の処理や処理が容易ではない機器の存在、事業終了のための準備を行うための期間を勘案した期間です。各事業における処理対象物の処理完遂に向けて、今後の処理の見通しを踏まえ、事業終了準備期間も活用して処理を実施することとなりました。

PCB 廃棄物処理事業に関するお問い合わせ

中間貯蔵・環境安全事業株式会社
北海道PCB処理事業所
 〒050-0087 室蘭市仲町14番7
 電話：0143-22-3111（代表）
 FAX：0143-22-3001



◀ウェブサイトはこちら

PCB処理情報センター
 〒050-0001 室蘭市御崎町1丁目9番地8
 電話：0143-23-7015
 開館日：月～金 9:00～16:30（土日祝・年末年始休館）

北海道 PCB 廃棄物処理事業監視円卓会議に関するお問い合わせ

北海道 環境生活部 環境保全局 循環型社会推進課
 〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目
 E-mail：kansei.kanhai1@pref.hokkaido.lg.jp 電話：011-231-4111（内線24-325）
 FAX：011-232-4970



◀ウェブサイトはこちら

室蘭市 生活環境部 環境課
 〒051-8511 室蘭市幸町1番2号
 E-mail：kankyou@city.muroran.lg.jp 電話：0143-22-1481
 FAX：0143-22-7148

回																			
覧																			

PCB 円卓会議だよりや監視円卓会議資料は、北海道および室蘭市のホームページでもご覧いただけます。 令和5年5月発行 **第58号**

PCB円卓会議だより

北海道 PCB 廃棄物処理事業監視円卓会議だより



第58回 北海道 PCB 廃棄物処理事業監視円卓会議を開催

令和5年3月24日、PCB処理情報センターにおいて第58回監視円卓会議を開催しました。会議には、学識経験者、団体委員、公募委員の計13名の委員のほか、オブザーバーとして、環境省、近隣自治体、JESCOなど関係者が出席し、処理の進捗状況やトラブル事象、福島県対策地域内の高濃度PCB廃棄物の処理に係るモニタリング結果について説明が行われ、これらに関する質疑や意見交換が行われました。



●会議の概要

- 1 議事録について
令和4年10月26日に開催された第57回監視円卓会議の議事録が承認されました。
- 2 北海道PCB廃棄物処理事業の進捗状況等について
JESCOから施設の稼働状況、PCB廃棄物の処理事業の現況、トラブル事象等や内部技術評価結果について説明がありました。
また事務局からモニタリング測定結果や立入検査についての報告がありました。

- 3 JESCO北海道PCB処理事業所 長期保全計画及び長期処理の見通しについて
JESCOから処理設備の更新予定を整理した「長期保全計画」と、令和5年度以降の処理予定数を整理した「長期処理の見通し」について説明がありました。
- 4 その他
環境省から、福島県対策地域内の高濃度PCB廃棄物の処理後の状況について説明がありました。
また、前回監視円卓会議における委員からのご質問に対して各所より回答がありました。



北海道PCB廃棄物処理事業の進捗状況等について

処理の進捗状況について

令和4年12月末までの処理実績は、次のとおりです。

当初施設 (脱塩素化分解処理)	変圧器類		コンデンサー類	
	登録数	処理台数	登録数	処理台数
	4,149台	4,117台(99.2%)	69,532台	68,132台(98.0%)

※処理台数及び処理重量は、試運転物を含む。※前回(令和4年8月末)の進捗率 変圧器:99.0% コンデンサー類97.8%

増設施設 (プラズマ溶融分解処理)	登録重量	処理状況			処理量計
		安定器	小型電気機器	感圧複写紙等	
	10,867,740kg	8,507,829kg	348,544kg	499,523kg	9,355,896kg(86.1%)

※処理台数及び処理重量は、試運転物を含む。※感圧紙等には汚泥等の汚染物を含む。※前回(令和4年8月末)の進捗率 82.7%

区分	1道15県	1都3県	計
登録重量(kg)	4,548,465	6,319,275	10,867,740
処理量(kg)	4,354,637	5,001,259	9,355,896
処理量/登録重量	95.7%	79.1%	86.1%

※参考(処理率について(令和4年12月末現在))
 ※前回(令和4年8月末)の進捗率
 1道15県:94.2% 1都3県:74.4% 計:82.7%

トラブル事象について

- ・前回の監視円卓会議での報告以降に発生したトラブル事象(区分Ⅰ～Ⅳ)は0件でした。
 - ・不具合事象11件及び不具合事象未済9件について報告がありました。
- 詳細については、北海道PCB処理情報センターで公表しています。

年度別報告状況

※R4はR4.12月末時点

区分		H20-25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	合計
不具合事象	当初	355	54	27	47	25	17	16	12	5	6	564
	増設	18	14	13	11	9	22	17	15	37	17	173
不具合事象未済	当初	418	39	35	35	23	24	7	10	12	6	609
	増設	37	21	13	19	23	14	28	17	16	18	206

環境モニタリング測定結果について

- ・北海道、室蘭市及びJESCOでは、処理施設からのPCB等の排出状況や周辺環境のモニタリングを実施しています。
- 排出源モニタリング及び周辺環境モニタリングでは全ての項目で目標値・基準値の超過はありませんでした。

福島県対策地域内廃棄物の処理に係るモニタリング結果について

- ・福島県対策地域内の高濃度PCB廃棄物の処理による影響がないことを確認するため、JESCO北海道事業所における空間線量率及び排気中の放射能濃度の測定を実施しました。
- ・処理後の空間線量率については、0.02-0.04 $\mu\text{Sv/h}$ でした。
- ・排気中の放射能濃度については、いずれの地点でも検出されません(=ND、検出下限値(1.0Bq/m³)未満)でした。

長期保全計画及び長期処理の見通しについて

長期保全計画

- ・処理設備の安全・安定操業を維持するため、点検・整備記録や建設したプラントメーカーの知見をベースに、中長期的な機器の更新や予備品の確保等、設備の経年劣化に対応する「長期保全計画」を、当初設備は平成26年11月に、増設設備は平成27年6月に策定しました。
- ・策定以降も定期点検結果や日常の保全状況・運転状況を加味しながら毎年見直しを実施しており、計画的な施設の維持管理を行いながら、事業終了まで安全・安定操業の継続を目指しています。

長期処理の見通し

- ・令和5年度以降の長期処理の見通しは以下の通りです。

[単位:台、本]



区分	(計画的処理完了期限)→		(事業終了準備期間)→			合計(R5以降)
	R3年度以前	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
変圧器類	4,088	31	8			8
同上(東京事業所へ)	5	0	0			0
コンデンサー類	66,189	2,796	510			510
同上(大阪事業所へ)	70	0	0			0
PCB油	1,190	43	0			0

※令和3年度までの処理実績は、年度末の中間処理完了ベース。処理量の見込みは令和5年1月時点でのJESCO登録量等より。
 ※今後掘り起こしが見込まれる量は含まない。

[単位:トン]



区分	(計画的処理完了期限)→		(事業終了準備期間)→			合計(R5以降)
	R3年度以前	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
安定器及び汚染物等(北海道事業エリア)	3,735	344	117	38		155
同上(東京事業エリア)	3,919	806	733	398		1,131
合計	7,654	1,150	850	436		1,286

※令和3年度までの処理実績は、年度末の中間処理完了ベース。
 ※処理量の見込みは、令和5年1月時点でのJESCO登録量等より。缶重量を含まない。
 ※処理促進策(安定器の仕分け、分離処理)による処理量も含む。処理促進策の状況等により今後変更する可能性がある。
 ※汚染物の無害化処理認定施設での処理量は含まない。
 ※今後掘り起こしが見込まれる量は含まない。

	空間線量率($\mu\text{Sv/h}$)測定結果			
	処理前(R3/5-R4/6)	処理中(R4/8-R4/9)	処理後(R4/11/7-11)	処理後(R5/2/7-11)
敷地外	0.04-0.05	0.04-0.07	0.04	0.04
敷地内	0.02-0.05	0.02-0.08	0.02-0.04	0.02-0.04

※各地点に1日3回測定し、30秒ごとに5回計測しています。
 ※表の数値は各地点の各回毎の平均値(3×5=15回)を示しています。(敷地内については、10箇所の測定結果のうち、最小値と最大値を示しています。)